

令和4年度 漁港漁場関係工事積算基準講習会 開 催 要 領

1. 目 的

漁港漁場関係事業の施工の合理化、工事品質の確保や向上を図るため、水産庁が作成した「漁港漁場関係工事積算基準」や「共通仕様書」、「水産基盤整備事業等における品質確保促進ガイドライン」等が毎年改正、施行されております。

「令和4年度漁港漁場関係工事積算基準講習会」は、漁港漁場関係工事における水産庁の取組、令和4年度から適用される積算基準の改定内容の他、工事費算定の基礎、工事に係る資材単価の動向、現場の施工実態といった積算に係る内容等について、漁港漁場工事の第一線で活躍中の実務者に対し早急な周知徹底を図るため、水産庁の御後援をいただき、「一般社団法人水産土木建設技術センター」と「一般社団法人全日本漁港建設協会」の共催で下記により開催いたします。

2. 日時・会場 ※新型コロナウイルス感染症の状況により日程が変更となる場合がございます。

1. 東京会場	日 時	令和4年6月2日（木） 13：00～17：00
	会 場	石垣記念ホール 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル9F TEL：03-3582-7451
2. 仙台会場	日 時	令和4年6月7日（火） 13：00～17：00
	会 場	ハーネル仙台 3階「蔵王B」 宮城県仙台市青葉区本町 2-12-7 TEL：022-222-1121
3. 福岡会場	日 時	令和4年6月22日（水） 13：00～17：00
	会 場	福岡朝日ビル 13～15号室 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-1-1 福岡朝日ビル地下1階 TEL：092-431-1260
4. 神戸会場	日 時	令和4年6月23日（木） 13：00～17：00
	会 場	三宮研修センター 6階 605号室 兵庫県神戸市中央区八幡通 4-2-12 カサベラ FRⅡビル TEL：078-232-0081

3. 講習内容：講習会プログラムのとおり

4. 受講料（テキスト、補助資料代含む）

- ① 「(一社)水産土木建設技術センター、及び(一社)全日本漁港建設協会 正会員・賛助会員」、
「国・都道府県・市町村職員」： 4,400円（税込）
- ② 上記以外の受講者： 11,000円（税込）

主 催

一般社団法人水産土木建設技術センター
一般社団法人全日本漁港建設協会
後 援 水 産 庁

「令和4年度 漁港漁場関係工事積算基準講習会プログラム」(予定)

12:15～ 受 付

13:00～ 開 会

13:00～13:05 主催者代表挨拶

一般社団法人 全日本漁港建設協会会長 岡 貞 行
一般社団法人 水産土木建設技術センター理事長 吉 塚 靖 浩

13:05～13:10 来賓挨拶

水産庁漁港漁場整備部整備課長 横 山 純

13:10～13:50 ◆水産庁の取組◆

「水産庁における品質確保に関する取り組みについて」
水産庁漁港漁場整備部整備課課長補佐(施工積算班) 内 山 唯 士

13:50～14:00 休 憩

14:00～14:40 ◆工事費算定の考え方◆

「漁港漁場関係工事費の積算について」
一般社団法人水産土木建設技術センター松江支所長 永 井 克 彦

14:40～14:50 休 憩

14:50～15:35 ◆積算基準の改定◆

「漁港漁場関係工事積算基準の概要及び改定について」
水産庁漁港漁場整備部整備課施工積算係長(施工積算班) 本城谷 多一郎

15:35～15:45 休 憩

15:45～16:25 ◆単価について◆

「最近の資材単価・労務費・市場単価の動向等について」
一般財団法人経済調査会土木第二部港湾空港調査室長 岩 瀬 真
一般財団法人経済調査会土木第二部港湾空港調査室 土 井 博

16:25～16:55 ◆品質確保と働き方改革◆

「現場の視点から見た品質確保及び働き方改革」
一般社団法人 全日本漁港建設協会会長 岡 貞 行

17:00 閉 会

《 申 込 要 領 》

1. 申込方法

受講希望者は、別添申込用紙に必要事項を記入のうえ各会場締め切り日（下記）までにお申し込み（FAX・電子メール可）下さい。

＜申込締切＞

東京会場：	令和4年5月27日（金）
仙台会場：	令和4年6月 3日（金）
神戸・福岡会場：	令和4年6月17日（金）

2. 受講料の支払い方法

※銀行振込みでのお支払いをお願い致します。

- ①受講する会場の開催日までに受講料の支払が間に合わない場合には、別添申込書の余白に支払予定日のご記入をお願い申し上げます。
- ②一般社団法人全日本漁港建設協会の正会員は、各都道府県支部で取りまとめますので、所属する支部事務局へお申込み下さい。なお、申し込み締め切り等の詳細については、各支部にお問い合わせ下さい。

＜振込先＞

銀行名：	三菱UFJ銀行 本店
口座番号：	普通預金 1457978
口座名：	一般社団法人 全日本漁港建設協会 （シャ）ゼンニホンギョコウケンセツキョウカイ

3. 受講者数 各会場とも、定員になり次第締め切らせていただきます。

◆東京会場：70名	◆仙台会場：60名
◆福岡会場：90名	◆神戸会場：60名

4. その他

（1）当日の受付について

申込者には受講票をお送りいたしますので、当日受付にてご提出ください。

（2）請求書・領収証について

見積書・請求書・領収証の必要な場合には、その旨を申込書にお書き下さい。なお、トラブル防止のため銀行振込控は必ず保管して下さい。

（3）申込みの取り消しについて

参加申込みの取り消しは、各会場ともに1週間前までをお願いいたします。なお、それ以降の取り消しについては、前納金の返還は致しません。

（4）お問い合わせ先

本講習会についての申込み・お問い合わせは下記事務局までお願いします。

＜事務局＞ 一般社団法人全日本漁港建設協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-25-10 JR 八丁堀ビル 5階

TEL 03-6661-1155 FAX 03-6661-1166 (info@zengyoken.jp)

担当：田原、國武

会場案内図 (交通機関)

1. 東京会場<石垣記念ホール>

TEL: 03-3582-7451



- 東京メトロ南北線・銀座線「溜池山王駅」(9番出口)又は(14番出口)徒歩3分
- 銀座線「虎ノ門駅」(3番出口)徒歩5分
- 千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」(3番出口)徒歩7分

3. 福岡会場<福岡朝日ビル>

TEL:092-431-1260



- 「JR博多駅」博多口 徒歩約2分
- 地下鉄「博多駅」博多口 徒歩約2分

2. 仙台会場<ハーネル仙台>

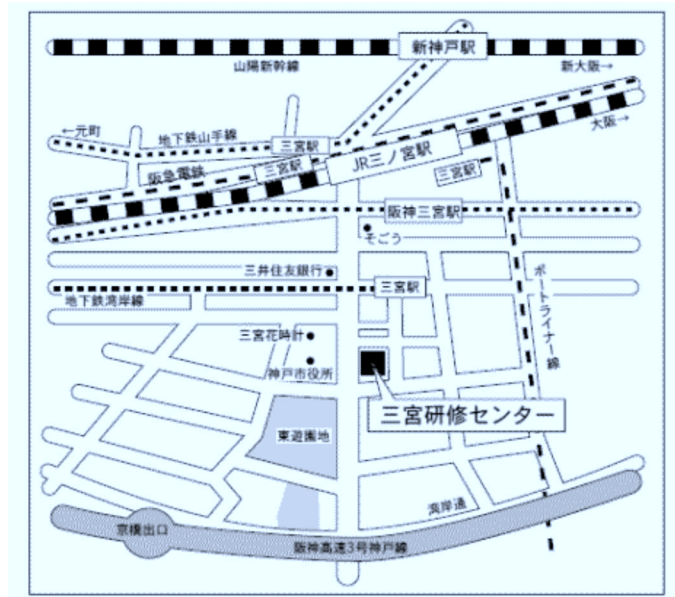
TEL : 022-222-1121



- 市営地下鉄「広瀬通駅」(西1番出口) 徒歩約3分
- 市営地下鉄「勾当台公園駅」(南4番出口) 徒歩約5分

4. 神戸会場<三宮研修センター>

TEL: 078-232-0081



- JR「三ノ宮駅」中央改札口からフラワーロードを南へ徒歩5分
- JR「三ノ宮駅」中央改札口から地下道〔C5〕出口
- 地下鉄・阪急・阪神「三宮」徒歩5分

<別紙>

<新型コロナウイルス感染症に対する対応について>

本講習会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症に対する政府の基本方針を踏まえ、以下のように対応し、感染拡大の予防に努めて参りますので、皆様にはご理解いただきますようお願い申し上げます。

- 1) 講師・事務局スタッフのマスク着用
- 2) 事務局スタッフの受付時の手指消毒の徹底
- 3) 会場入り口での消毒液の設置
(各会場のフロア入り口等にも消毒液の設置)
- 4) 会場内の席は、原則机に2名掛け又は1名掛け机又は、席の間隔をできるだけ空ける体制に致します。
- 5) 会場について
 - 窓開けおよび空調設備による換気の実施
(窓開けについては、窓の開閉設備のある会場で風雨等の悪天候の影響を受けない場合に限りませう。)
 - 会場扉の開放
原則、休憩時間中に限りませう。
(その他、会場によって講習会中も開放可能な場合には定期的に開放致します。)
 - その他
ドアノブ等の消毒の実施
- 6) 受講者の皆様におかれましては、「手洗い・手指の消毒」や「マスクの着用」、「うがいの励行」などの感染症予防対策へのご協力をお願い致します。
- 7) 37.5度以上の熱に限らず、普段の平熱の範囲を超える発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある場合等については、ご参加を控えていただきますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の防止にご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

令和4年度 漁港漁場関係工事積算基準講習会 受講申込書

都道府県	氏名	住所（受講票等送付先）	勤務先	役職名	受講希望会場（○をつけてください）
		〒			1. 東京 2. 仙台 3. 福岡 4. 神戸
		〒			1. 東京 2. 仙台 3. 福岡 4. 神戸
		〒			1. 東京 2. 仙台 3. 福岡 5. 神戸
		〒			1. 東京 2. 仙台 3. 福岡 6. 神戸
		〒			1. 東京 2. 仙台 3. 福岡 4. 神戸
【受講料】 ◆「水産土木建設技術センター、全日本漁港建設協会 正会員・賛助会員」及び、「国・都道府県・市町村職員」 : 4,400円（税込） ◆上記以外の受講者：11,000円（税込）				受講者	名
				料金 合計	円

支払予定日	（ 月 日頃）		※当日の現金でのお支払いはご遠慮ください。		
請求書	1. 要 2. 不要	（宛名 ）（日付 令和 年 月 日）（摘要 ）として 1. 事前送付（受講票に同封） 2. 別途送付（ ）			
領収書	1. 要 2. 不要	（宛名 ）（日付 令和 年 月 日）（摘要 ）として 1. 別途送付（入金確認後送付） 2. その他（ ）			
（例）領収書	1. 要 2. 不要	（宛名 ○○株式会社 ）（日付 令和4年 ○月 ○日）（摘要 受講料 ）として ※宛名、日付が空欄の場合、空欄のまま作成します。摘要が空欄の場合、例の通り「講習会受講料として」作成します。 1. 別途送付（入金確認後送付） 2. その他 （受講者宛と別で送付を希望）			
その他、連絡事項があればご記入ください。（（例）見積書の作成、受講票と請求書の送付先が異なる場合の送付先 等）					